

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-134366

(P2000-134366A)

(43) 公開日 平成12年5月12日 (2000.5.12)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テームト* (参考)
H 0 4 M 11/00	3 0 3	H 0 4 M 11/00	5 C 0 7 5
1/57		1/57	5 K 0 3 6
H 0 4 N 1/32		H 0 4 N 1/32	L 5 K 1 0 1

審査請求 未請求 請求項の数 3 F D (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平10-319788

(22) 出願日 平成10年10月22日 (1998. 10. 22)

(71) 出願人 000006747

株式会社リコー

東京都大田区中馬込 1 丁目 3 番 6 号

(72) 発明者 小川 昌宏

東京都大田区中馬込 1 丁目 3 番 6 号 株式
会社リコー内

F ターム (参考) 5C075 BA11 BB11 CA14 CF04

5K036 AA15 JJ05

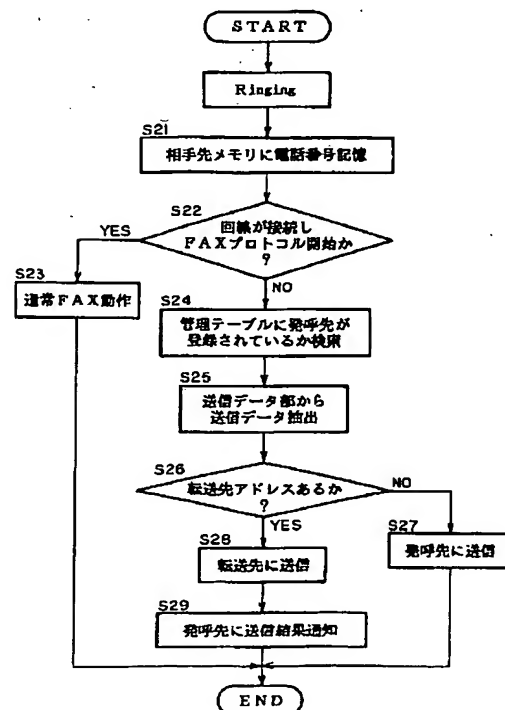
5K101 KK01 PP10 RR15 RR17

(54) 【発明の名称】 ファクシミリ装置

(57) 【要約】

【課題】 通常送信、ポーリング送信、及び時刻指定送信を発呼側の呼出に応じて行う。

【解決手段】 発呼されると相手の電話番号を相手先メモリに記憶 (S 2 1) する。回線が接続され、ファクシミリプロトコルが開始 (S 2 2) された場合、通常のファクシミリ通信動作を行う (S 2 3)。呼出信号中に回線が切断された場合、かけてきた相手を相手先メモリから拾い出し、管理テーブルを参照し登録されている番号か調べる (S 2 4)。登録されている場合は、その原稿を、送信データ記憶部から引き出し (S 2 5)、転送先番号の登録有無を調べ (S 2 6)、転送先が登録されていない場合は相手先メモリで調べた発呼相手に送信する (S 2 7)。転送先番号が登録されている場合は、転送先番号へ原稿を送信する (S 2 8)。原稿の送信終了後、送信命令をかけてきた相手に発呼し、送信の成否を通知する (S 2 9)。



BEST AVAILABLE COPY

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ナンバーディスプレイ機能を備え、呼び出し側が回線接続前に呼び出しを止めても、相手宛先を判断しポーリング送信することを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項 2】 請求項 1 に記載されたファクシミリ装置において、ある宛先から電話がかかってきた場合に、あらかじめ登録してある宛先に登録原稿を送信する機能を有するファクシミリ装置。

【請求項 3】 請求項 2 に記載されたファクシミリ装置において、原稿の送信が正常に行われた場合、送信命令を出してきた宛先に電話をし、送信の結果を通知する機能を有するファクシミリ装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、通常送信、ポーリング送信、及び時刻指定送信が可能なファクシミリ装置に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、ポーリング送信を行う場合は、一度相手に回線を接続しプロトコル上で呼び出し側の連絡先を伝え、かけ直してもらう方法であった。この方法では一度回線をつながなければならず、また呼び出し側がファクシミリプロトコルを有していないと不可能であった。また、時刻指定送信などはメモリ送信可能なファクシミリの場合、あらかじめ原稿を読み込ませたときに送信時刻を指定しなければならなかった。そして、ファクシミリから離れたところで送信命令を出した場合に、原稿の送信が正常に行われたか否かを知ることができなかった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 通常送信、ポーリング送信、及び時刻指定送信を発呼側の呼出に応じて行うファクシミリ装置を提供することを目的とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】 上記目的を達成するために、ファクシミリ装置において、ナンバーディスプレイ機能を備え、呼び出し側が回線接続前に呼び出しを止めても相手宛先を判断しポーリング送信するようにしたものである。また、ある宛先から電話がかかってきた場合に、あらかじめ登録してある宛先に登録原稿を送信する機能をもたせたものである。さらに、原稿の送信が正常に行われた場合、送信命令を出してきた宛先に電話をし、送信の結果を通知するようにしたものである。

【0005】

【発明の実施の形態】 図 1 は、本発明のファクシミリ装置の構成ブロック図である。スキャナ 1、プロッタ 2、操作表示部 3、画像メモリ 4、管理テーブル 5、送信データ記憶部 6、通信制御部 7、符号化復号化部 8、制御部 9、パラメータメモリ 10、RAM 11、相手先メモ

リ 12、音声データ及び制御部 13 はそれぞれバスラインを介して相互に接続されている。またモデム 14、網制御装置 15 を介して回線に接続されている。管理テーブル 5 は、制御を許す相手先の番号、またその相手先が取り扱う原稿番号、その原稿の送信先ファクシミリ番号などを管理している。送信データ記憶部 6 は、ポーリング送信を行うデータを蓄積している。音声制御及びデータ部 13 は、送信の成否を通知する音声データ及びその制御を行っている。

【0006】 図 2 は、本発明のファクシミリ装置の動作フローチャートで、本発明のファクシミリ装置は、発呼されると相手先メモリ 12 に相手の電話番号を記憶し（S21）、操作表示部 3 で相手先を表示する。回線が接続され、ファクシミリプロトコルが開始（S22）された場合、通常のファクシミリの場合はモデム 14 を介し通信動作を行う（S23）。あらかじめポーリング送信する原稿を読み込ませ、送信データ記憶部 6 に蓄積しておく。そして、管理テーブル 5 にその原稿番号を登録する。また、相手先の電話番号とその相手に送る原稿番号も登録しておく。

【0007】 ここで、呼出信号中に回線が切断された場合、かけてきた相手を相手先メモリ 12 から拾い出し、管理テーブル 5 を参照し登録されている番号か調べる（S24）。管理テーブル 5 に登録されている場合は、そのテーブルに示されている原稿を、送信データ記憶部 6 から引き出す（S25）。管理テーブル 5 には、転送先がある場合、あらかじめ転送先番号が登録されている。つぎに、転送先番号の登録有無を調べ（S26）、転送先が登録されていなければ相手先メモリ 12 で調べた発呼相手に送信する（S27）。転送先番号が登録されている場合は、転送先番号へ原稿を送信する（S28）。そして、転送先へ原稿を送信し送信終了後、相手先メモリ 12 を調べて送信命令をかけてきた相手に発呼する。通話後、音声制御及びデータ部 13 により、送信の成否を通知する（S29）。

【0008】

【発明の効果】 ポーリング送信する際に呼び出し側の通話料がかからずにすむ。また、原稿を読み込ませたときに送信時間を指定しなくても、電話をかけたタイミングで送信が可能になり、また、通話料はかけずに、さらに携帯電話など利用により離れた場所から送信命令が可能になる。そして、離れた場所においても、原稿の送信結果を知ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明のファクシミリ装置の構成ブロック図である。

【図 2】 本発明のファクシミリ装置の動作フローチャートである。

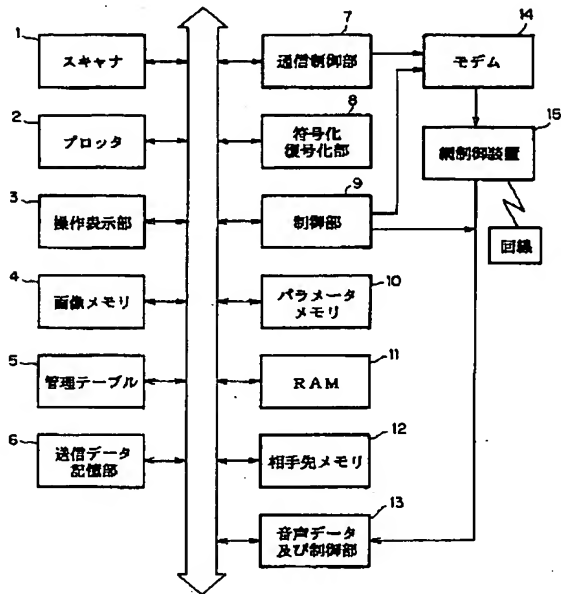
【符号の説明】

1…スキャナ、2…プロッタ、3…操作表示部、4…画

3

像メモリ、5…管理テーブル、6…送信データ記憶部、
7…通信制御部、8…符号化復号化部、9…制御部、1
0…パラメータメモリ、11…RAM、12…相手先メ

【図1】



4

モリ、13…音声データ及び制御部、14…モデム、1
5…網制御装置。

【図2】

